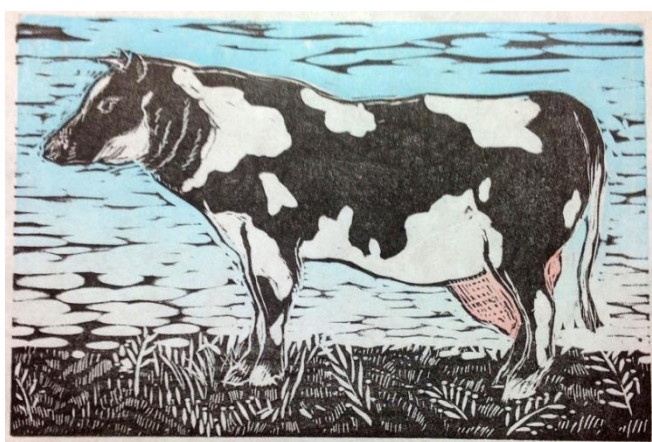


2013 年

夏の技法紹介講座「新紙版画」

(台湾商品名 樹脂版)



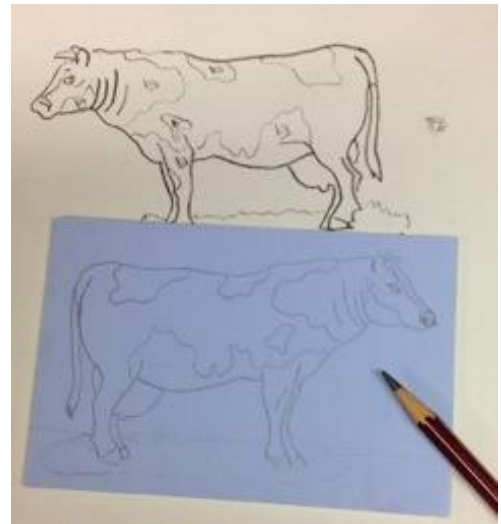
リン版画工房

不許複製

夏恒例の技法紹介講座も、12回目になります。カレンダーの作品も「新紙版画」でつくりました。今年も、どうぞ新しい技法をお楽しみください。

新紙版画制作手順

- 1,下絵を 4B の鉛筆で版と同じサイズのトレーシングペーパーに描きます。
次に下絵を裏返してバレンでこすると、版(薄青色)に鉛筆の線が転写されます。
転写が薄いところは鉛筆で直接描きます(強く書かないように注意)



- 2,彫刻等やニードルで描刻する。

板目木版画と違い、彫り易さが均一で軽い力で彫る事が出来ます。また細かい線はニードルを使うと簡単です。描版道具としてはその他に、くぎや銅版画のルーレット、ドライバーなどが使えます。

ビュランは不適です。

またエッチングプレス機を使って布目などのテクスチャーをつける事が出来ます。



3,油性インクを凸部にローラーで載せる。インクの量が多いと細い線がつぶれますので注意。
インクはリトグラフ用のインクが適しています。紙版なので水性絵の具は使用できません。



4,バレンで摺って完成。
薄い紙にバレン刷りが適しています。

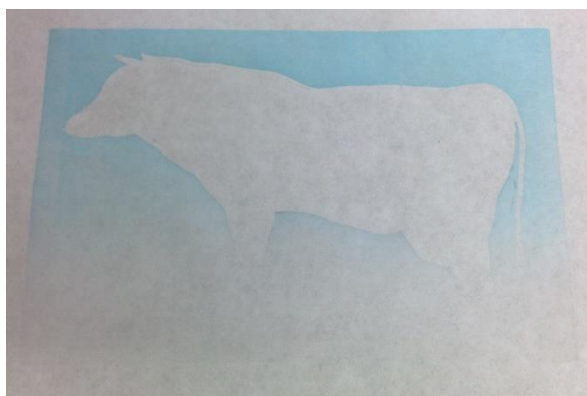


- ◎ルーレットや＋ドライバー、ボールペンなどもお試してください。
- ◎カッターで観点に切れますので分割して面白い形を作っても良し。
- ◎プレス機も使用できますが、細かい線が直ぐにつぶれてしまいます。
- ◎印刷が終わった版は、リグロインかプリントクリーナーを付けた布でよく拭いて保存して下さい。
(直接、版に洗い油をかけると版が油を吸って膨らみますので注意する事)

制作手順 2 多色刷り

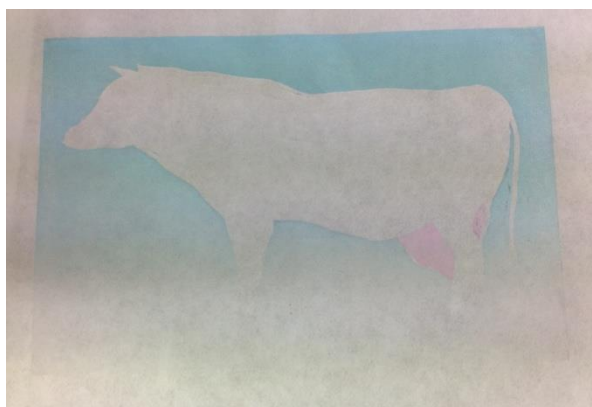
簡単に多色刷りも出来ます。

1,主版を作った下絵を使って色分けし彫ります。手順は墨版と同じです

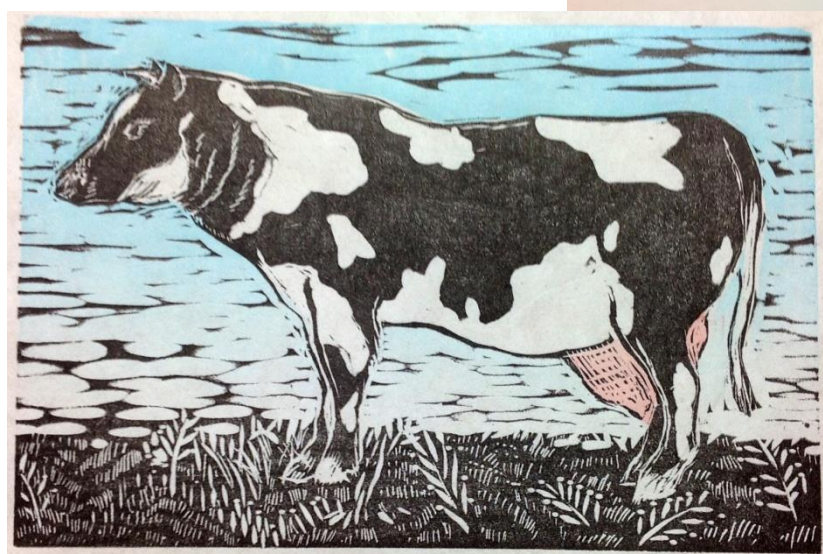


1 版目に薄いブルーのグラデーション(ローラーぼかし)をかけてみました

2,次の色版も同手順です



3,主版(墨版)を重ねて完成



簡単に色版が作れますので気軽に制作できます

その他の特徴

○色変えも簡単なので色々な色で刷る事が出来ます。



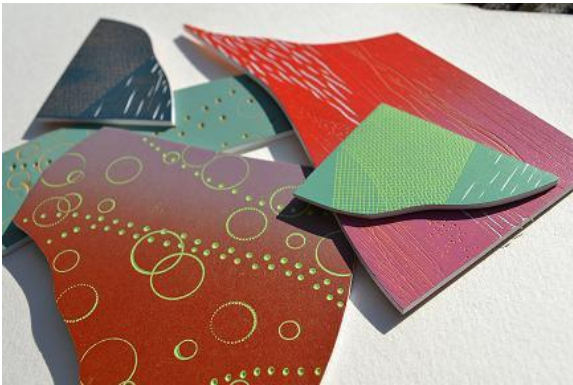
○とにかく彫り易い版材なので大胆な彫りが楽しめます。



○制作の幅が広いので低学年から、美術専門家まで対応できます。
低学年はボールペンで描く事で版が凹み、線だけの表現になります。
彫刻等が使えるようになるとより幅広い絵が作れます。



○紙素材なのでいろいろなテクスチャーを版につけることができます。



注意点

- 彫刻等の扱いに注意する事。彫るときは刃物の先に手を置かないように!
- ニードルなどの尖ったものを使用しますので気を付けて下さい
- インクは油性インクです。汚れても良い服装で制作して下さい
- 版を洗ったりするときは換気に気を付けて下さい